



日本学術会議 公開シンポジウム
第95回日本衛生学会学術総会 市民公開講座

入場無料

環境リスクと正義

(司会) 上田 佳代* (北海道大学大学院医学研究院 教授) *日本学術会議連携会員
中村 桂子* (東京科学大学大学院国際保健医療事業開発学分野 教授)

◆開会挨拶: 中村 桂子*

◆基調講演: 宇佐美 誠* (京都大学大学院地球環境学堂 教授)

[プラネタリー・ジャスティス]

◆パネルディスカッション: プラネタリーヘルス, 環境リスク管理の視点から

◇鹿嶋 小緒里* (広島大学IDEC国際連携機構プラネタリーヘルス・イノベーションサイエンスセンター(PHIS) センター長)

・ベトナム山岳地域における気候変動と健康

◇春日 文子* (長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 / プラネタリーヘルス学環 教授)

・プラネタリーヘルスダイエットへの取り組み

◇藤井 健吉* (花王株式会社研究開発部門 研究主幹 / 研究戦略・企画部 部長)

・国際的な化学物質管理

◇宇佐美 誠*

◆閉会挨拶: 橋爪 真弘* (東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 教授)

2025年

3月21日(金)

15:30 - 17:00

ソニックシティホール 2階 小ホール
(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

大宮駅より徒歩3分

アクセス:

(<https://www.sonic-city.or.jp/access.html>)

参加方法: 現地参加のみ(会場に直接お越しください)

お問合せ: シンポジウム事務局

(whocc.ith@tmd.ac.jp)

持続可能な開発目標では人の健康やウェルビーイングの公正性の実現を目指していますが、環境リスクによりもたらされる影響は一律ではなく、特定の集団に対して不均等に降りかかることが多くなっています。特に社会的・経済的に弱い立場にある人々は、より大きく深刻な影響を受ける可能性があり、環境正義の観点から緊急の課題とされています。環境リスクと人間の健康やウェルビーイング、生態系の健全性を考えるなかで、地域間の格差やそれをめぐる責任について正義の観点からの議論について理解を深め、人類が直面する環境リスクに世界の様々な立場の人と立ち向かうにあたって必要な視点について考えます。

[主催] 日本学術会議環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会
第95回日本衛生学会学術総会

[共催] プラネタリーヘルスアライアンス 日本ハブ